

令和6年3月27日発行

愛知県立農業大学校



だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2

Tel : 0564-51-1601 Fax : 0564-51-4831

E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp

ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



CONTENTS

- 1 卒業特集
- 2 令和5年度卒業生の進路状況
- 3 専攻トピックス
- 4 ニューファーマーズ研修の修了トピックス
- 5 合同就職相談会、令和5年度終業式、令和6年度の入学説明会

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)





祝卒業

令和5年度愛知県立農業大学校

卒業に寄せて

卒業おめでとうございます。

みなさんが農大で過ごした2年間は、入学当初は新型コロナウイルスの感染症対策により、いろいろな制限がありました。5類感染症に移行後は、東海近畿スポーツ大会をはじめ、様々な行事が制限のない形で行えるようになり、充実した学校生活を送っていただけたものと思います。

専攻実習での仲間と協力しながらの作業、実習販売で元気にお客さんに売り込む姿、スポーツ大会や農大祭を大いに盛り上げてくれたことなど、みなさんの活き活きとした姿、明るい笑顔が数多く浮かんでいきます。

みなさんは、それぞれ新たな道に進みますが、学校生活で得た友人は一生の友として、いつまでも大切にしてください。そして、この愛知農大での経験を糧にして、誠実に一生懸命に努力し、常に笑顔と感謝の気持ちを忘れず、自分に関わる多くの人たちの力となるよう心がけていただきたいと思います。

みなさんとの2年間は、私にとって楽しく忘れられない思い出です。これからみなさんの進む道に、幸多からんことを心より祈っています。

本当にありがとうございました。



校長 石橋良洋



教育部農学科の令和5年度卒業式を、3月8日（金）に中央教育棟大講義室で挙行し、68名が本校を巣立って行きました。

当日は旅立ちの日を祝うかのような好天に恵まれました。卒業生は厳粛な雰囲気の中で、2年間にわたる専攻実習や農家派遣実習、プロジェクト活動、海外派遣研修、体育祭、農大祭、学生寮での生活等、農大での学業生活の様々な思い出を胸に卒業式に臨みました。

式典では、卒業生全員が順に呼名され、卒業生総代の鶴田昇也さんに、石橋校長から卒業証書が授与されました。その後、成績優秀者や実習等に精励した者に対して、県知事賞や大学校長賞等の表彰が行われたあと、校長式辞に続いて、愛知県知事代理の犬飼峰宏農業水産局技監と柴田同窓会長から御祝辞をいただきました。続いて、在校生代表として、作物専攻1年の吉田勝哉さんが卒業生への送辞を述べるとともに、卒業生を代表して露地野菜専攻の二村早姫さんが答辞を述べ、卒業式は閉式となりました。



卒業証書授与 卒業生総代 鶴田昇也

卒業式終了後は、コロナ禍のため実に5年ぶりとなる卒業パーティーが学生会主催により和耕寮食堂で開催されました。豪華な食事とともに、軽音楽部による演奏やビンゴゲームなどを楽しみながら、先生方も加わって思い出を語り合う姿があちこちで見られました。

卒業生には、農大で学んだことを活かし、新たな道へ歩んで行って欲しいと思います。



各賞 受賞者

| | | | |
|------------------------|---|---|-----------|
| 優 秀 賞（愛知県知事賞） | | | |
| 鶴 | 田 | 昇 | 也（露地野菜） |
| 優 秀 賞（大学校長賞） | | | |
| 浅 | 井 | 李 | 咲（露地野菜） |
| 河 | 合 | 啓 | 汰（果 樹） |
| 平 | 松 | 拓 | 海（作 物） |
| 精 励 賞（大学校長賞） | | | |
| 坂 | 元 | 楓 | 華（鉢物・緑花木） |
| 森 | 川 | 徹 | 哉（切 花） |
| 大 | 倉 | 野 | 悦 美（作 物） |
| 長 | 尾 | 成 | 海（果 樹） |
| 杉 | 山 | 聖 | 弥（露地野菜） |
| 山 | 田 | 鳳 | 斗（施設野菜） |
| 吉 | 田 | 綾 | 音（酪 農） |
| 鈴 | 木 | | 響（養豚・養鶏） |
| 特 別 賞（大学校長賞） | | | |
| 夕焼けマーマレード#8（果 樹） | | | |
| 全国農業大学校協議会長賞 | | | |
| 二 | 村 | 早 | 姫（露地野菜） |
| 農業大学校同窓会全国連盟会長賞 | | | |
| 尾 | 崎 | 嵩 | 仁（作 物） |



優秀賞(大学校長賞) 浅井李咲



全国農業大学校協議会長賞 二村早姫



農業大学校同窓会全国連盟会長賞 尾崎嵩仁



送辞 在校生代表 吉田勝哉



答辞 卒業生代表 二村早姫



校長式辞(石橋校長)



愛知県知事祝辞(農業水産局 犬飼技監)



来賓祝辞(柴田同窓会長)



作物専攻



酪農専攻



露地野菜専攻

卒業パーティー(学生会)



学生会会長 二村 早姫



農大の思い出

農業大学校では、良い仲間と多くの経験を得ることが出来ました。この出会いに感謝し、これからも友人や周りの人を大切に過ごしていきたいです。

就職後は、2年間学んできたことを生かし、活躍できるよう頑張ります！



鉢物・緑花木専攻 石井 圭人



2年間の寮生活がとにかく楽しく、卒業するのがとても寂しいです。僕と一緒に思い出を作ってくれた先輩や後輩、そして同学年の仲間には感謝しかありません。

鉢物・緑花木専攻ではいろんな植物を知ることができました。また、市場にも見学に行かせていただき、貴重な体験をしました。

農業大学校での学びを生かして就職先でも頑張っていきたいと思います。本当に楽しかったです。ありがとうございました。



切花専攻 森川 徹哉



農業大学校では、切花の栽培から出荷について学びました。高校で行っていた実習よりも各々が責任感を持って作業をし、より深く生産に携わり、良い経験となりました。また、寮生活では、多くの仲間とかけがえのない時間を過ごすことができ、充実した2年間でした。

この2年間で得た経験を就職先で活かして、頑張っていきたいと思います。



作物専攻 大倉野 悦美



農業大学校では専攻実習や寮生活を通じ、たくさんの友人とかけがえのない時間を過ごすことができました。この2年間で得られたつながりを一生大切にしていきたいです。

卒業後は専攻で学んだ知識や経験を生かして、愛知県の農業に貢献できるように頑張っていきます。2年間ありがとうございました。

果樹専攻 水野 宏哉



農業大学校では、ブドウやナシなど果物のことを果樹専攻の仲間達と学びました。このメンバーは癖の強い人が多く、いろいろありましたが、基本的には皆仲良くやれていました。実習は皆と力を合わせ、業後は皆と遊び、彼らとは掛け替えのない時間を過ごしました。

また、北海道や四国、オーストラリアなどいろいろな場所を訪れることができ、楽しかったです。すごく充実した2年間でした。



露地野菜専攻 杉山 聖弥



農業大学校で1番学んだことは人との繋がりで、もちろん露地野菜の栽培や出荷についても学びましたが、市場の方との繋がりが無いと出荷もできません。また寮生活では優しい友人に恵まれて、とても楽しく過ごすことができました。

卒業後も2年間で得た友人や先生方との繋がりを大切に、頑張っていきたいと思います。2年間ありがとうございました。

施設野菜専攻 山田 鳳斗



農大での2年間で、大きな学びと経験を積みました。ここで得た知識や技術を活かして農業界でのキャリアを築いていきます。また、地域社会に貢献し持続可能な農業の推進を目指しながら成長していく姿勢を持ち続けます！

酪農専攻 吉田 綾音



酪農専攻で学んだ2年間は大変なこともありましたが、得られることも沢山あり、楽しく実習ができました。

また、学校生活では最高の友達がたくさんでき、日常生活はもちろんですが東海近畿スポーツ大会やオーストラリア研修など本当に楽しい充実した2年間で過ごすことができました。一生忘れられない思い出です。農大に入って本当に良かったです。

養豚・養鶏専攻(養豚) 杉山 茜



この2年間は、様々な体験をして大変なことがたくさんあったけど大きく成長できた2年間だったと思います。農大でしかできない体験や経験をたくさん積んで人脈も大きく広がりました。海外研修では、ホームステイ先のご家族に温かく迎えて頂き、ほんの少しですがオーストラリアの生活や農業について学ぶことができ、とても楽しく過ごすことができました。農大での素敵な2年間でありがとうございました。

養豚・養鶏専攻(養鶏) 鈴木 響



農業がさらに好きになった2年間でした。農大では、専門の勉強や専攻実習以外にも農家で飼養管理や経営を学ぶ派遣実習、農大祭や収穫感謝祭などいろいろな行事があり、全てが自分の成長につながったと思います。中でもオーストラリアに海外研修に行ったことは、自分の将来と真剣に向き合う良い経験でした。

農大で学んだことを思い出しながら頑張っていきます。2年間ありがとうございました。



ご卒業おめでとうございます

先生から卒業生へ



- みんなが私に見せてくれた“思いやりの心”をいつまで大切に！未来が輝きますように！！（島岡勝隆）
- 農大で培ったものや出会った仲間を大切に、素敵な人生を歩んでいってください。（安藤実香）

学務

- 思いやりの心を持ち、自分らしく、人生を歩んでいってください。（佐藤英治）
- 努力・未来・A Beautiful Star！（浅野将宏）
- 皆さんとの会話はとても楽しかった。ありがとう。人の良さを持ち続けてください。（宮本憲）
- 卒業おめでとうございます。みなさんの健康とご活躍をお祈りしています。（大見有紀子）
- 農大で学んだことを礎に、社会人としてのご活躍をお祈りいたします。（磯貝勝）
- ご卒業おめでとうございます。皆さんの輝く未来に幸多いことを祈念いたします。（坂口卓司）

花き

- 卒業おめでとうございます。社会人になっても農大時代を思い出してください。（米倉悟）
- 卒業おめでとうございます！これまで楽しかった！たまに遊びに来てくださいね～。（真野恭平）
- これからもよく学び、よく働き、たくさん遊んでください。まあ君たちなら大丈夫。（原知明）
- 農大での経験はみなさんに自信を与えるものとなったはず。今後の人生の糧にして邁進してね！（犬伏加恵）
- 卒業おめでとうございます！！みなさまの新天地でのご活躍を応援しています！！（佐久真ひろみ）
- 卒業おめでとうございます。4月からの新生活を応援しています。（新井和俊）

野菜

- 希望に満ちた新しい路を邁進してください。（樋江井清隆）
- 卒業おめでとう。卒業しても遊びにきてね。農大祭で待ってます！（中嶋譲）
- 皆さん特技を生かし専攻を良い方向へ導いてくれました。社会人になっても活躍期待してます。（牧宏優）
- 友人同士のまとまりが良かった学年！社会に出てからもそのつながりを大切にしてください。（吉田圭介）
- 農大で出会った友人をいつまでも大切にしてください。農大での経験を活かして新天地でも頑張ってください！（小島優作）
- 農大での体験は何物にも替えがたい宝物です。明るく、前向きに、そして笑顔で頑張ってください。（金沢輝芳）

作物 果樹

- ご卒業おめでとうございます。4月からの進路先で活躍してくださいね。（落合幾美）
- 農大での2年間に自信を持って、明るく楽しく生きてください。またいつか元気な姿を見せてね！（古川恵）
- 仕事も勉強も〇〇も、フリでもいいから楽しみな。ホントになるよ。（長崎晋作）
- 農大の怒涛の2年を乗り切った君たちなら大丈夫！新天地でも自信を持って活躍してください。（影山舞子）
- 農大の2年間で得た濃～い絆は一生もの！繋がりを大切にしながらこれから始まる事に向かっていってください。（大橋博子）

畜産

- 皆さんがそれぞれの道で活躍し、成功されることを期待します。（齋藤勉）
- 農大での経験を生かし、次のステージで頑張ってください。人とのつながりを大切に、楽しい人生を！（春日井大輝）
- 農大で学んだことをいかして頑張ってください。お元気で。（河合奈菜子）
- 人はいつでも変われます。いつからでもやり直せます。皆が力強い人生を歩んでいかれることを期待しています。（鳥居雅樹）
- 農大初めての生徒があなたたちで本当に良かったです、ありがとう。皆さんの活躍を期待しています。（横井太志）
- これから良くも悪くもいろいろあると思いますが、経験は力になります。ご活躍を期待しています。（鶴田瑞穂）
- 農大での思い出は一生の宝物です、人生はまだまだあります辛い時こそ楽しかった日々を思い出そう！（井戸咲良）

舎監

- 社会人として新しい物語の始まりです、そこにはきっと農大の団体生活が役に立つでしょう。（宇野慈晃）
- 卒業おめでとう。農大で培った友情を大切に、社会に羽ばたいていってください。（辻邦夫）
- 卒業おめでとう！寮生活で得られた協調心を活かして、社会で大いに活躍してください。（田口延行）
- 農大生よ、よく稼ぎ、よく遊べ！（山下篤）



令和5年度卒業生の進路状況

令和6年3月8日（金）、本校2年生68人が卒業しました。

今回、この68人の卒業後の進路についてご紹介します（3月15日現在）。

今年度はすべての卒業生が進路を確定することができています。

令和5年度卒業生の進路別の内訳は表の通りです。表 令和5年度卒業生の進路別内訳

専業農家出身者で、卒業後即就農する者が3人で卒業者に占める割合は4.4%でした。雇用就農する者は18人、26.5%で平成31年度以降徐々に高まっています。この二つを合わせた就農者は、21人で30.9%となりました。これに、将来就農する予定で一時就職する6人と研修を受ける2人を加えると29人が就農予定で、就農率は42.6%となります。

| 項目 | | 人数(人) |
|--------|--------|-------|
| 就農 | 自営就農 | 3 |
| | 雇用就農 | 18 |
| | | 44 |
| 就職 | うち一時就職 | 6 |
| 研修 | | 2 |
| 進学 | | 1 |
| その他・未定 | | 0 |
| 計 | | 68 |

また、就職44人、64.7%について、その就職先をみると、JA等9人、農業機械関係6人、農業資材関係3人をはじめ、農業関連団体・企業に28人が就職し、公務員等（農業関係高校実習助手等）に3人が就職しています。

注) 就職のうち一時就職とは、専業農家出身者で将来自営就農予定の者。

一方で、非農業関連も13人で、全体の19.1%を占めています。

来年度も引き続き、全学生が早期に希望進路を叶えられるよう支援してまいります。

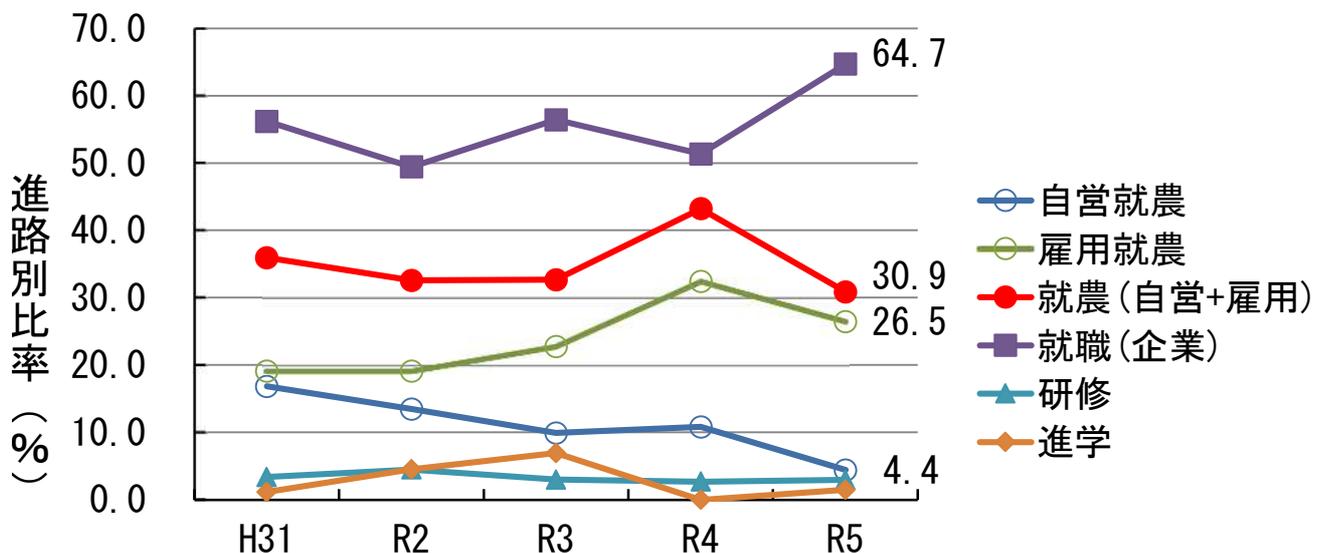


図 就農・就職率の推移(平成31～令和5年度)

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

| 区分 | 鉢物・緑花木 | 切花 | 作物 | 果樹 | 露地野菜 | 施設野菜 | 酪農 | 養豚・養鶏 | 計 |
|----|--------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|----------|
| 1年 | 7 (2) | 5 (1) | 9 (2) | 15 (5) | 14 (7) | 15 (3) | 15 (6) | 10 (3) | 90 (29) |
| 2年 | 3 (1) | 7 (2) | 5 (1) | 9 (0) | 15 (7) | 13 (3) | 9 (6) | 7 (4) | 68 (24) |
| 計 | 10 (3) | 12 (3) | 14 (3) | 24 (5) | 29 (14) | 28 (6) | 24 (12) | 17 (7) | 158 (53) |

Dairy Farming



酪農

畜産合同で畜霊祭を行いました！



農大には昭和12年に建立した畜霊碑があり、3月15日（金）の終業式前に、酪農専攻、養豚専攻及び養鶏専攻の学生及び関係職員が出席し、畜霊祭を行いました。畜霊祭は畜魂祭とも呼ばれ、人間の生活に役立てるために犠牲となった家畜の尊い命に対し、冥福を祈り、感謝するものです。

畜産を学ぶ者として、家畜の命を大切にしながら「人間は家畜の命をいただいている」ということ改めて認識し、これからも本校でしっかりと学ぶ決意を新たにしました。

Pig Farming



養豚

Egg-laying Hen



養鶏

豚舎整備を進めてきました！



豚舎や養豚施設は建設から長い年月を経過していることもあり、老朽化が目立ち改修が必要な箇所が散見されるようになりました。そのため今年度は、豚舎の改修を始め、柵の補修、浄化槽の改修、システム豚舎、繁殖豚舎のカーテン取り替え、自動給餌器の修理など様々な改修を進めてきました。また、シャワー付き更衣室や飼料庫も整備し、衛生的で使い勝手の良い豚舎環境となるよう整備してきました。さらに、昨年の夏は豚舎周りに雑草が繁茂し、防除に苦労したことから、防草シートを敷き込み雑草対策も行いました。

今後、学生たちは、豚舎の修理や雑草に煩わされることなく、集中して実習に取り組めることと思います。



作物

校外学習で酒造メーカーを訪問！

3月12日に校外学習として、酒米の利活用と酒類の製造技術について学習するため、勲碧酒造（株）を訪問しました。

勲碧酒造（株）は農大で栽培した酒米「夢吟香」を販売している酒蔵であり、自分たちが作ったお米がどのように活用されているのかについても学ぶ機会となりました。

学生たちは日本酒の種類や酒造工程に興味を示しており、設備や醸造方法について積極的に質問がありました。実際の製造工程を見学することで、見た目上での変化や香りを体感することができ、有意義な校外学習となりました。



果樹

モリコロパークで庭園での害虫対策を学びました♪



3月14日、作物・果樹専攻合同で校外学習に行きました。訪問先は、愛・地球博記念公園で庭園管理を行っているNPO法人「長久手公共施設協会」で、本校の2年前の卒業生3名に公園内を案内していただきました。

公園の中を少し歩いた後、青春の丘近くの林の中で、昭和61年卒の農大OBの稲原氏より、非農耕地での樹木管理について講義を受けました。



切花

土台崩壊!? 飾花作成危機一髪!

卒業式壇上の飾花を切花専攻で作るのも毎年お馴染みの光景ですが、今年は事件が起こりました。

サイズを大きく作りすぎて花をたくさん挿したせいでしょうか、土台の吸水性スポンジが負荷に耐え切れなくなり、大きく割れて崩壊してしまいました。

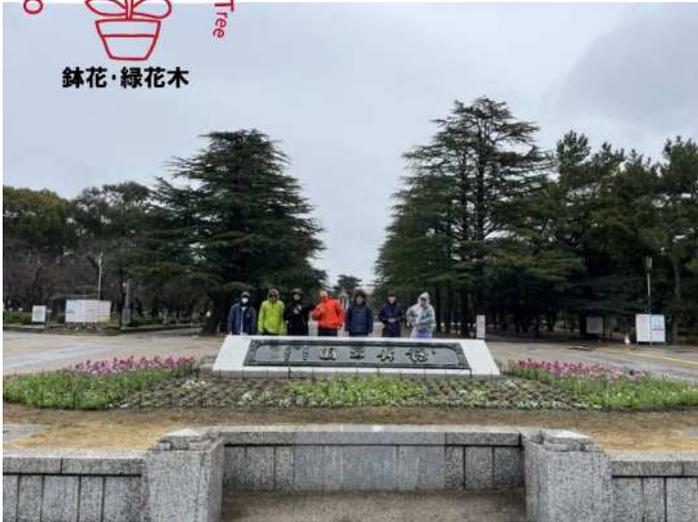
なんとか修復を試みるもうまくいかず、泣く泣く一から作り直すことに…。予備の吸水性スポンジを用意していたため助かりましたが、もし予備を用意していなかったらと思うとゾッとします。

写真は、崩壊前の幻の飾花（製作途中）です。全体の形はきれいに作れていたのが惜しかった…。





鶴舞公園の花壇を定植しました！



3月5日に名古屋市にある鶴舞公園で、春の花壇づくりを行いました。農大で栽培した約600鉢の花苗を公園の正面花壇に植えました。

当日はあいにくの雨でしたが、園内スタッフの方々の協力もあり、泥だらけになりながらも1年生全員が無事に植えることができました。

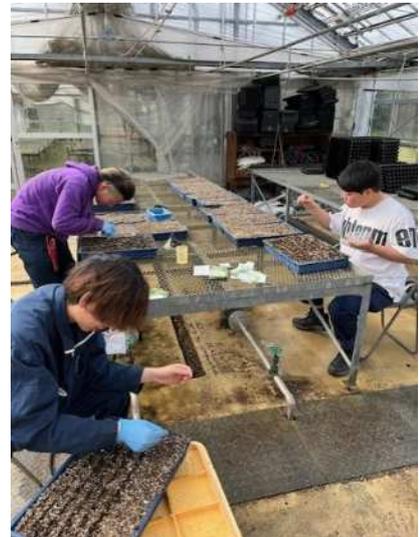
この花壇は4月いっぱいまでが見頃となりますので、お近くにいらした際は、ぜひご覧ください。



アールスメロンの豊作を願って！

施設野菜専攻では夏場のメイン品目としてアールスメロンを栽培しており、3月19日(火)に当番学生が播種作業を行いました。

今年は約1600粒を播種し、順調にいけば7月下旬に収穫できる予定です。前年では、メロンが小玉になってしまったり、糖度不足になったりと課題が多かったので、前回の反省を活かして甘くておいしいメロンを生産したいです！



イチゴの収量が少しずつ増え、収穫が本格化！！



3月に入って日差しが強くなり、イチゴの収穫作業も少しずつ増えてきました。

2年生が卒業し、1年生がメインになり週3回、頑張って収穫しています。初めは慣れなかったパック詰めも板についてきて、買い手の目を引くようなキレイな商品ができるようになりました。今後さらに収穫量が増え6月上旬頃まで美味しい完熟イチゴを収穫予定です。

是非、水曜直売に出向いて、おいしいイチゴを食べてみてください。

令和5年度ニューファーマーズ研修修了

令和6年2月22日(木)に令和5年度ニューファーマーズ研修の発表会と閉講式を開催し、21名が研修を無事に修了しました。発表会では今後の就農計画を発表し、研修生から就農に対する強い決意が感じられる素晴らしい内容でした。

研修生は、研修修了後、各地域で就農し農業者の新たな仲間となります。各地域の担い手として活躍を期待しております。

なお、来年度もニューファーマーズ研修は開講予定です。農業大学校では、引き続き専業農家として農業経営を目指す人材の育成を図ってまいります。



研修を修了して(研修生の声)

- 大変学びが多く有意義は1年間で、新規就農する方は全員受けたほうがいいんじゃないかと思うほどです。
- 非常に低価格で、農業のみならず幅広い知識が得られたことに感謝しています。
- ここで得た経験を糧に、今度は作物を通して愛知県に貢献できるよう、日々精進していきたいです。
- 伝える技術を極められている方の講義は大変面白かったです。
- 農業という未知の分野に飛び込んでいった一年前、不安でどうしようもなかったのですが、各先生方のご尽力のおかげで、独立に向けてなんとか目途が立ちました。
- 同時期に就農する仲間と農業経営を学べたことはとても有意義でした。
- リモート受講できるように手配いただきとても助かりました。

トピックス

第1回合同就職相談会を開催しました

2月29日・3月1日（木・金、全課程対象）、3月5日（火、畜産課程対象）に合同就職相談会を開催し、86人の学生が参加しました。

合同就職相談会は、本校学生に求人を希望する企業・団体が参加して、採用担当者から直接説明を聞くことができる機会です。例年3月と6月の2回開催しています。

今回は、3日間で昨年より多い55の企業等の参加を得て開催することができました。参加した学生のアンケートでは、エントリーしたい会社があるとの意見も聞かれ、今後、就職活動に本格的に取り組めます。



令和5年度終業式を行いました

3月15日（金）、令和5年度最後の終業式を行いました。

1年生のみの式となりましたが、この1年、農大での講義・実習やたくさんの学校行事をこなし、1年前とは見違えるほど成長しました。

石橋校長からは、これまでの1年間の経験で得た自信と自覚を持ち、新入生に対して手本を示してもらいたい。また、2年生は専攻プロジェクトや卒業論文の執筆、そして就職・進学などの進路決定が本格化するので、何をしなければならないかしっかりと考えて行動してほしいとの講話がありました。



令和6年度入学生の入学説明会を行いました

3月19日（火）に、令和6年度教育部農学科入学説明会を実施しました。本校の定員は100名ですが、志願者93名から選抜された合格者79名が入学予定となっています。

安藤教育部長からは、2年間は長いようで短く、農大で何を学ぶのか、卒業後に何をしたいのか、自身の進路を見据えて頑張ってもらいたいお話がありました。

また、和耕寮で過ごす舎室や寮内施設を見学もしました。

新入学生や保護者から農大での学びや共同生活に対して決意の表情が窺えました。

